



新年度に向かって（進学・進級）



校庭の桜の蕾が日ごとにかわいい花を咲かせ、新しい春を迎える準備をしています。例年よりも開花が少し遅いような気もしますが、桜の木も令和6年度をなごり惜しく思っているからでしょうか。



さて、24日（月）の第152回卒業証書授与式では、6年生72名が別れを惜しみつつ、希望を胸に巣立っていきました。深谷小学校の卒業生としての自覚と誇りをもって、新しい扉を開いて行ってほしいと式辞で述べました。式では、これまでの練習の成果を遺憾なく発揮し、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様から大変すばらしい卒業式だったとお褒めの言葉を頂戴いたしました。卒業生はもちろんです、在校生の代表として大きな役割を果たしてくれた4年生・5年生にも心から感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

そして、1年生から5年生までの児童も、いよいよ4月から1学年上へ進級です。『新しい扉』が開かれます。4月からは新1年生80名を迎えますが、卒業生がいなくなってしまう影響は大きいかもしれません。



在校生一人一人が1学年上へ進級した自覚をもつとともに、卒業生から引き継いだ「深小プライド」を大切に、新たな深谷小153年目の歴史のページを創る主人公となるよう頑張ってくれることを期待しています。

「登下校の見守り」ありがとうございました

この1年間、大きな交通事故等もなかったことは、ひとえに地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。街中の学校として、交通事故はいつも気になることです。学校では、児童のヘルメットの着用、交通安全指導等に力を入れていますので、引き続きご家庭でも注意をよろしくお願ひします。登下校の安全を見守ってくださった旗当番の保護者の皆様、自治会長様をはじめ各自治会の皆様、民生児童委員の皆様、交通指導員さん、また、児童の安全確保のためにパトロールをしてくださった保護者・地域の皆様、学校の教育活動が数え切れなほどの大勢の方々のご理解とご協力で支えられてきました。1年間、誠にありがとうございました。



そして、ぜひ来年度も引き続き「深小っ子」のために温かいご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

